

えべつ未来づくりプラットフォーム主催

2020年度第1回

江別4大学合同FD・SD

江別市は、札幌市の北隣にある人口約12万人の市です。市内には5つの大学・短期大学があり、約9,000名の学生が学んでいます。産学官連携による地域貢献と高等教育の活性化を目的として、江別市と市内大学・短期大学、江別商工会議所が連携協定を締結、2019年に「えべつ未来づくりプラットフォーム」が誕生しました。

より良い教育研究等の実現を目指して、これまでに様々な共同事業を進めておりますが、このたび「江別4大学合同FD・SD」を開催(オンライン開催)することとなりました。

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大を受け、各大学がどのように遠隔授業を実施してきたか、教員・職員それぞれの視点から、現状と今後の課題について報告します。ぜひ全国の教育関係者の方々にご参加、ご閲覧いただきたくご案内申し上げます。

全体テーマ

「江別市内4大学における遠隔授業の現状と課題」

日時

2021年 3月 17日(水) 14:30～16:55

開催方法

ZOOMによるオンライン開催

受講対象者

教育関係者(教員・職員等)、遠隔授業に関心のある方

定員

100名

参加費

無料

<総合司会> 札幌学院大学経済学部教授 平澤 亨輔

14:30～14:35	ご挨拶「はじめに」 札幌学院大学学長 河西 邦人(えべつ未来づくりプラットフォーム幹事校 代表)
14:35～15:15	基調講演「ポストコロナ時代の大学教育の展望」 講師:北海道情報大学 情報メディア学部 情報メディア学科教授 隼田 尚彦
15:15～15:40	事例発表1「学生スタッフと協働して取り組む遠隔授業支援」 報告者:札幌学院大学 情報処理課専門職員(システムエンジニア) 原田 寛之
15:40～16:05	事例発表2「ICT相談会から生まれた知恵と工夫」 報告者:北翔大学 教育文化学部 芸術学科教授 松澤 衛
16:05～16:30	事例発表3「遠隔授業に関するアンケートが示すこと」 報告者:酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授 吉野 宣彦
16:30～16:55	事例発表4「誰ひとり取り残さない～デジタル・ディバイドの解消に向けて～」 報告者:北海道情報大学 経営情報学部 先端経営学科 准教授 藤本 直樹

【申込方法】

以下のメールアドレスに、件名を「合同FDSD参加希望」とし、本文に、①所属学校、②教員・職員・その他の別、③お名前、④メールアドレスをご記入の上お送りください。おって、ZOOMのURLをお送りします。

お申込先: sharen@ims.sgu.ac.jp

お問合せ・お申込み

えべつ未来づくりプラットフォーム事務局 (札幌学院大学 社会連携課 松本)

メールアドレス sharen@ims.sgu.ac.jp ☎(011)386-8111(代)